

ほっ、とやわしいまちを目指して

「亀岡市手話言語及び障害者コミュニケーション条例」
施行記念イベント開催

6月23日、ガレリアかめ
おかで「亀岡市手話言語及
び障害者コミュニケーション

ン条例」の施行記念イベ
ントを開催しました。同条例
は、手話を言語と認めると
ともに市民が互いを尊
重し、豊かに暮らせる
地域を目指し4月1日
に施行されたものです。



劇団あしたの会による手話劇「わかり合えるために」

イベント当日は、亀
岡市の障害福祉のこれ
までの取り組みと条例
について、元亀岡市手
話言語等コミュニケーション
条例素案作成委
員会会長の中村雄一さ
んに、報告を行って
いただきました。

アユモドキ博士の話 聞きたい！質問したい！



アユモドキ博士のクイズに答える子どもたち

城西小学校では、3年生
が総合的な学習の時間に「曾
我谷川の生き物調べ」に取り
組み、川に実際に入ったり、
絶滅危惧種であり市内に生息
域があるアユモドキを飼育し
たりしています。6月29日に
は、環境省の外来生物防除専
門官の山脇一浩さんを招いて
アユモドキについての特別授
業が行われました。

授業では、市内の河川に
500匹前後があると推定さ
れるアユモドキは、亀岡市と
岡山県の一部にしかないこ
となど、クイズを交えて楽し
ていました。



アユモドキ以外の生き物も、川に入って調べます

く学びました。子どもたちは
熱心に聞き入り、「日本以外
にもいるんですか」と質問す
るなど、アユモドキが日本に
しかない貴重な天然記念物
であることに驚いていました。
授業を受けた上原柚紗さんは、
「学校で飼っているアユモド
キも大切に育てたい」と話し
ていました。



中村雄一さんによる活動報告

また障害のある人から、
普段の生活の中で感じてい
るさまざまな思いを、寸劇
や弾き語りなどで分かりや
すく伝えていただくことも
に、劇団あしたの会による
手話劇「わかり合えるため
に」が上演されました。手
話劇を含む本イベントは、
コミュニケーションに困難
があるさまざまな障害のあ



多様なコミュニケーション手段の体験コーナー

る人に対し、音声、手話、
スクリーンを使った文字表
示(要約筆記)などを用い
て実施しました。
他にも、会場の外では、
多様なコミュニケーション
手段を紹介する展示・体験
コーナーが開設されるなど、
訪れた多くの人たちにとつ
て新たな気づきや理解を深
める1日となりました。

日比野敏彦さん 京都・かめおか観光PR大使に就任



癒しの528Hzの音楽を奏でる日比野敏彦さん

第57回日本レコード大賞企
画賞受賞の作曲家・ピアニス
トACON HIBINO
として活躍される日比野敏彦
さんは、亀岡市内に音楽スタ
ジオを創設され、亀岡を創作
の拠点として活動されていま
す。このほど、亀岡にゆかり
があり、全国的に活躍されて
いる著名人が亀岡の魅力を広
くPRする「京都・かめおか
観光PR大使」に就任いただ
くこととなり、7月14日、桂
川市長から委嘱状が手渡され
ました。

日比野さんは、1秒間に
528回の振動を持つ周波数
を用いて作曲されています。
「528Hz」は、ストレスの
軽減や、さまざまな分野での
活用が期待され、日比野さん
の楽曲は大きく注目されてい
ます。今後、活動される中で、
美しい癒しの音楽とともに、
亀岡の魅力を広めていただき
ます。



桂川市長(左)から日比野さん(右)に委嘱状を手渡しました

第三百九十三回 亀岡ちよと昔の道具箱 ⑳

文化財めぐり

ざしきぼうき

ほうきは、ごみやほこりを掃
き出したり、集めたりするため
の道具ですが、奈良時代までは
祭祀用の道具として用いられて
きました。その後、掃き掃除の
道具として一般的に使われるよ
うになり、江戸時代には、武士
階級にしか普及していなかった
畳が庶民階級に広がったことか
ら、畳の目に食い込む穂先を
もったざしきぼうきが考案され
ました。

これらほうきは、その形態に
よって、柄が短い手ぼうき、立っ
たまま床などを掃ける柄の長い
長ぼうきに分けられます。さら
に座敷用には藁やモロコシなど
のやわらかい草を、板の間や土
間用には棕櫚を、庭用には竹と
いったように用途などによって



▲ざしきぼうき

素材や名称が異なりました。
ざしきぼうきを使った家の掃
除は、最初に家具や障子につい
たほこりを、棒の先に細長い布
や紙を束ねて作った「はたき」
で落とし、部屋の外に掃き出し
たり、ちりとりを集めてとりま
した。また、ほこりが多い時
には、ほこりが立たないように、お
茶がらを固く搾ったものや濡ら
した新聞紙をちぎってまいてか
ら畳の目にそって静かに掃くと
ごみがよくとれました。
昭和六年(一九三一)に国産
初の電気掃除機が登場し、住ま
いも畳の和室から洋室が増加し
たことよって、ほうきから掃
除機へと変わっていきました。
(文化資料館)